

## 令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	広域サイクリング観光推進事業
事業主体 (連絡先)	広域サイクリングルート研究会 〒389-2702 長野県下水内郡栄村大字北信 3586-4 震災復興記念館絆1階
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	529,111 円 (うち支援金: 420,000 円)

### 事業内容

「ちくしなでぶらりチャリ」と銘打った当地域でのポタリング観光推進事業の2年目事業として、より当地域の魅力を周知させるため、YouTuberを起用したPR動画の制作・発信。昨年に引き続きSNSキャンペーンの実施。事業計画に合わせ、ホームページの一部修正等。

他、昨年度より準備を進めてきた3市町村間でのレンタサイクル乗捨事業を正式運用開始。レンタサイクル利用者の満足度向上施策として、スマホを自転車に取り付けるサイクルホルダーを購入。

当該地域の観光関連事業者向けの「ちくしな試走回」を実施し、地域関係者への事業の周知を行った。また、飯山市との意見交換会を行い、事業内容の向上に努めた。

### 事業効果

■動画制作おける効果：2本合計で約2万視聴。多くのサイクリスト層に向け情報発信できた。

■SNSキャンペーン：記念品90個に対し、渡せた数2個。認知度の低さが課題。

■各市町村のレンタサイクル事業：津南、栄村は目標数を下回る結果。十日町市は大地の芸術祭関連での利用で目標数を大幅増。

■レンタサイクル乗り捨て：乗り捨て利用者数2名。サービスの認知度向上が課題。

■ちくしな試走会：紅葉の繁忙期にずれ込んだため、事業者の参加が少なく限定的な効果となった。

■飯山市との意見交換：来年度意向の飯山市との連携を模索する取り組みの第一歩として効果を得られた。

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

過去に制作したチラシやポスター、のぼりなどの制作物に加え、今年度制作したPR動画を引き続き活用し、事業のさらなる認知度向上を図っていく。

過去2年間、初心者層にターゲットを絞って事業を進めてきたが、より上級のサイクリスト層向けにコンテンツを拡充し、サイクリングで当該地域を訪れた客層に対し、ちくしな地域の魅力を感じてもらう。

飯山市で今年度実施したサイクルトレインとの連携を強化し、栄村を拠点として新潟県側に向けてのサイクリングルートのPRや、事業者との連携などを行い、サイクリストの取り込み強化ならびにレンタサイクル稼働率の向上を図る。

レンタサイクル事業については各市町村ごとに課題が異なるため、それぞれの観光協会と課題に対処し、情報共有を行う。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【事業者向け体験会】

### 【目標・ねらい】

- ① 一般客ならびに地域観光事業者への事業認知度の向上
- ② レンタサイクルのり弁性の工場と、それに伴う利用者増加

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

計画していた事業に関しては一通り実施することができたが、目指していた目標数値に対し、思うような効果を得ることができなかった。